



【 俳句から物事を感じさせられました 】

○ 3年生の教室の前を通ると、子供たちが掲示板を見ていました。そこには、俳句が書かれていました。イラスト付きです。大変分かりやすい俳句ばかりです。一つ一つの俳句には、



その**子供の生活や感じ方が凝縮されている**ように思えました。幾つか紹介します。

・年末は こたつですごすぞ 0時まで	・猫さんも こたつ大好き あったかい
・朝起きて すぐに近づく ファンヒーター	・こたつでね ねこがうとうと あったまる
・冬になる 動物たちも すがた消す	・寒い冬 のりこえるのが つらいんだ
・冬みんの くまを起こすと たいへんだ	・干し柿を みんなで食べると 美味しいな
・冬休み こたつでみかん おいしいな	・冬になり 雪かきしては またつもる
・一日で 世界を回る サンタさん	・朝起きて ストーブつけて じんとうろ

○ 例えば、「新しい年を迎えようという意志」「冬に感じる寒さ・ありがたさを感じるストーブ」「寒さを感じる動物の行動の確認」「冬みんする熊の心への寄り添い」「家族でみかんを食べることから思う家族愛」「サンタさんの行動の推測」など、それぞれの子供が自分や周りの状況を捉えていると思います。

○ 私は読んでいて、私の忘れかけていたことを思い出させてくれました。例えば、私の家にも干し柿があって食べましたが、「(家族) みんなで食べる」と「おいしい」ということは思っても見ませんでした。よく考えると、**干し柿を家族と一緒に食べる瞬間、家族がそろっていること自体が幸せな**ことです。そこに感謝すると、「おいしい」と感じられるのでしょうか。これは、普通の夕飯の時でも同じだと思います。家に帰って、家族と一緒に物を食べながら、**家族がいることに感謝したい**と、私は思いました。

○ 何気ない掲示に、大きな意味を見いだしたことに喜びを感じた瞬間でした。